

## 日本特別ニーズ教育学会 2022 年度中間集会 開催案内（最終案内）

日本特別ニーズ教育学会は 2022 年 6 月 5 日（日）に開催します。当学会中間集会・研究大会として久しぶりの対面での開催に向けて準備を進めておりましたが、新型コロナウイルス感染状況等を鑑みてオンラインでの開催に変更いたしました。諸々の変更にもかかわらず、既に多くのお申し込みをいただいておりますことに感謝申し上げます。

中間集会の内容は、午前：研究委員会による「若手チャレンジ研究会」（卒業論文・修了論文・修士論文・博士論文等のデザイン検討、SNE 学会における学会発表の予備的検討／特別講義）、午後：準備委員会企画による「基調講演・パネルディスカッション」により構成されています。準備委員会企画では、「With/After コロナの時代における特別ニーズ教育の公共的役割を問う」をテーマに、基調講演には藤田英典氏（都留文科大学学長）をお呼びし、続くパネルディスカッションを通して、多様な教育的ニーズを有する子ども・若者に対する特別ニーズ教育の役割と課題を検討したいと計画しております。

オンラインでの開催ではございますが、より充実した集会ができるよう準備してまいります。参加申込み期間・参加費の納入方法は下記をご一読ください。お申し込み期間が 5 月 29 日（日）となりますので、ぜひお早めにお手続きください。多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

2022 年 5 月 27 日

日本特別ニーズ教育学会 2022 年度中間集会準備委員会  
堤英俊（都留文科大学）・内藤千尋（山梨大学）

### 日本特別ニーズ教育学会 2022 年度中間集会概要

1. 開催日程：2022 年 6 月 5 日（日）9:30～16:20
2. 開催方法：Zoom によるライブ配信
3. プログラム

日付	時程	プログラム
6 月 4 日（土）	17:30～19:30	【理事会】
6 月 5 日（日）	9:00～	受付開始
	9:30～12:10	研究委員会主催「若手チャレンジ研究会」 ①卒業論文・修了論文・課題研究・修士論文・博士論文等のデザイン検討、SNE 学会における学会発表の予備的検討 ②特別講義「研究・論文作成においてミスしがちなデータの統計解析」 池田吉史氏（上越教育大学）
	12:10～12:45	休憩・（午後からの参加者受付）
	12:45～13:50	基調講演 藤田英典氏（都留文科大学学長） 「特別ニーズ教育の意義と課題」
	13:55～16:00	パネルディスカッション

		「With/After コロナの時代における特別ニーズ教育の公共的役割を問う」 司会 堤 英俊氏（都留文科大学） パネリスト 原田琢也氏（金城学院大学） 古屋和久氏（都留文科大学、元・山梨県身延町立身延小学校） 藤田英典氏（都留文科大学） コメンテーター 河合隆平氏（東京都立大学）
	16:00～16:20	<u>クロージング・セッション</u>

#### 4. 集会内容

(1) 9:30～12:10 研究委員会主催「若手チャレンジ研究会」

①卒業論文・修了論文・課題研究・修士論文・博士論文等のデザイン検討、SNE学会における学会発表の予備的検討

\*若手チャレンジ研究会での発表申込みは終了しました。\*

司会・進行：研究委員会 高橋智理事・黒田学理事・河合隆平理事

発表者・コメンテーター：

9:30～9:50

横田慧氏(神戸大学大学院人間発達環境学研究科修士課程2年)「自閉症の社会性の障害概念について」

コメンテーター：池田吉史理事、渡邊流理也理事、田部絢子特命理事

9:50～10:10

○高阪英徳氏（広島大学大学院人間社会科学研究科博士課程前期）・村上理絵氏（広島大学大学院人間社会科学研究科助教・会員）「知的障害特別支援学級における「各教科等を合わせた指導」と「教科別の指導」の学びをつなげる授業実践のあり方」

コメンテーター：堤英俊理事、河合隆平理事、内藤千尋理事

10:10～10:30

中江優花（京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科博士後期課程3回生・会員）「教育現場における障害者との共生—日本とインドを事例に—」

コメンテーター：黒田学理事、加瀬進代表理事、石井智也理事

10:30～10:50

杉本優依（山梨大学教育学部障害児教育コース4年）「小中学校に在籍する外国にルーツをもつ子どもの発達支援に関する調査研究」

コメンテーター：黒田学理事、石井智也理事、石川衣紀理事

10:50～11:10

平山美沙都（長崎大学教育学部特別支援教育コース4年）「性的マイノリティ当事者の学校生活上の困難・ニーズ・支援課題に関する研究」

コメンテーター：加瀬進代表理事、田中謙理事、池田吉史理事

11:10～11:30

石井文乃（尚絅学院大学心理・教育学群学校教育学類4年）「コロナ禍を含むマルチ・ハザード時代の防災教育の研究—子どもの「いのち・生活・発達」を保障する学校を目指して—」

コメンテーター：田部絢子特命理事、田中謙理事、堤英俊理事

②11:30～12:10

特別講義「研究・論文作成においてミスしがちなデータの統計解析」 池田吉史氏（上越教育大学）

## （2）準備委員会企画内容

「With/After コロナの時代における特別ニーズ教育の公共的役割を問う」

### 企画趣旨

「公共性」という概念は、1960年代から哲学・社会学・政治学などの分野で用いられ、民主的な社会や制度について考えるにあたって重要な意味を持ってきました。教育学の分野でも、1990年代以降、新自由主義的な教育改革や経済格差・教育格差との関わりから、「教育の公共性」が議論の俎上に載せられてきました。

新型コロナウイルスの感染拡大によって経済格差・教育格差が一層深刻化している状況の中で、あらためて「教育の公共性」とは何か、とりわけ「With/After コロナの時代における特別ニーズ教育の公共的役割とはなにか」について議論したく、本シンポジウムを企画しました。

基調講演・パネルディスカッションには、教育学の分野において「教育の公共性」論を先進的に牽引している藤田英典氏、小学校の現場で障害のある子どもを含む多様な存在を前提とした「学び合う教室文化づくり（公共空間づくり）」を実践している古屋和久氏、元中学校教員で子どもの貧困と学校文化の関係について探究している原田琢也氏にご登壇いただき、上記のテーマについてそれぞれのお立場から発題していただきます。これからの特別ニーズ教育について、通常の教育学と特別支援教育学の垣根を超えて、広く議論する機会にしたいと考えています。

司会・進行：準備委員会 堤英俊

### ①基調講演 藤田英典氏（都留文科大学学長）

12:45～12:50 事務的事項・趣旨説明

12:50～13:40 基調講演 藤田英典氏「特別ニーズ教育の意義と課題」

13:40～13:50 質疑応答

13:50～13:55 ≪休憩≫

### ②パネルディスカッション

13:55～14:15 報告① 原田琢也氏「With/After コロナの時代における特別ニーズ教育の公共的役割—政策と実践の横断の視点から—」

14:15～14:20 質疑応答

14:20～14:40 報告② 古屋和久氏「『学び合う教室文化』づくりがめざすこと—教室のすべての子どもたちが『支え合い・高め合う』教室づくり—」

14:40～14:45 質疑応答

14:45～14:55 報告③ 藤田英典氏（原田・古屋の報告を受けて、講演内容の補足など）

14:55～15:05 コメント 河合隆平氏

15:05～15:15 三者から応答

15:15～16:00 フロア・全体討議

#### 5. 参加申し込み・参加費の納入方法

参加費は 1,500 円（会員・非会員ともに）。なお学部学生・高校生以下は無料です。チケット販売サイト Peatix より事前に申し込み及び参加費の納入を行ってください。申し込み締切りは 5 月 29 日です。

（コンビニ／ATM 支払いの方は申し込み・支払い期日が 5 月 28 日となりますのでご注意ください。

\*Peatix 申し込みページ URL <https://snechukan2022.peatix.com>



#### 6. オンラインでの開催に際し、以下の点にご留意ください。

ZOOM でのオンライン開催となります。Wi-Fi などの安定したインターネット接続が必要です。

当日の Zoom URL および要旨集は、参加申し込みをいただいた方に集会の数日前までにお送りいたします。ZOOM の URL や ID・パスワード情報は申し込みいただいた方のみがご利用ください。

#### 7. お問い合わせ先

2022 年度中間集会準備委員会 堤英俊（都留文科大学）・内藤千尋（山梨大学）

E-mail [sne.chukan2022y@gmail.com](mailto:sne.chukan2022y@gmail.com)